

# 施政方針 令和6年度に取り組む主な施策（概略）

新年度の市政運営に対します施政方針を申し上げ、広く市民の皆様への御理解を賜りたいと存じます。

私にとって、市長就任後、初めてとなる予算編成を行った新年度の一般会計当初予算につきましては、令和5年度と比較し、率で8.1パーセント、44億円の増、過去最大となる588億円を計上いたしました。

青梅の未来につながる一つひとつの施策に積極果敢にスピード感を持って取り組み、「住んでいて本当に良かった」と、市民の皆様から思っただけのように、一つひとつの施策を着実に推進してまいります。

私は、これから、市長として、本市の市政運営を担っていく上で、他の自治体に“憧れる”のではなく、この青梅市こそを、「誰もが憧れるまち」にしていきたいと強い決意を抱いております。

さらに、市民の皆様が、「青梅市に住んでいて本当に良かった」と思えるようなまちづくりを推進していく所存であります。

市長 大勢待利明

## こども・若者・教育・子育て

- ・小中学校の学校給食費の無償化や将来を担うこどもたちの育成等のため、「青梅市こどもまんなか応援基金」を進める
- ・妊婦歯科健康診査を個別健診に変更
- ・保育園舎の改修、認定こども園の開設を支援
- ・AI技術を活用したテストのデジタル採点ソフトを導入
- ・就学相談室の相談員を2人から3人体制に増員
- ・校内別室指導支援員の配置
- ・初のZEB認証施設として新調理場の建設工事に着手

## 健康・福祉・医療

- ・全ての地区の地域包括支援センターの土曜日開設
- ・青梅市基幹相談支援センターを設置

## 都市基盤・防災・安全

- ・圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備
- ・青梅駅周辺の賑わいの創出を目指し、再開発組合に対する協力・支援を実行
- ・グリーンスローモビリティをはじめとする、相乗りデマンドタクシーのシステム構築等新たな移動手段の導入
- ・好文橋の補修工事や釜の淵公園内の鮎美橋の構造改修および塗替え工事に着手
- ・各市民センター体育館や総合体育館等にWi-Fi環境を整備

## 施政方針（詳細）

### こども・若者・教育・子育て

#### こどもがまんなか

調査結果を踏まえ、こどもや若者、子育て支援の取り組みを第一としたこども計画を新たに策定、市内小中学校の給食費の無償化に向けた財源をはじめ、将来を担うこどもたちの育成や更なる子育て支援に役立てるための「青梅市こどもまんなか応援基金」を上程

#### 子育てしやすい環境

妊婦歯科健康診査を個別健診に変更することで、受診しやすい環境を整える。安定的・持続的な乳幼児の保育環境を整備するため、保育園舎の改修、認定こども園の開設を支援

#### 学校教育等の充実

AI技術を活用したテストのデジタル採点ソフトを導入し、最適な学習指導を推進。就学相談室の相談員を2人から3人体制に増員、各小中学校に配置している学校教育活動支援員の勤務時間を拡充し、特別支援教育・インクルーシブ教育を推進。不登校児童・生徒の支援では、スクールソーシャルワーカーによる登校支援、ふれあい学級分室の充実、校内別室指導支援員の配置など、支援の充実を図る。フリースクールに関する支援を新たに行う。

#### 学校施設整備

小中学校の照明LED化改修工事を令和6年度～8年度に計画的に進め、新たに、ポータブル型AEDを東小・中学校を除く全小中学校に配備、安全対策を拡充。新しい学校給食センターでは、新年度、根ヶ布調理場の解体工事を終え、新調理場の建設工事に着手。初のZEB認証施設として整備を進める。

### 健康・福祉・医療

#### より相談しやすいまちへ

重層的支援体制整備事業を本格実施。地域福祉コーディネーターの配置を充実させ、より身近な福祉相談を可能にする。とともに、複雑化・複合化した相談にも包括的に対応。全ての地域包括支援センターの土曜日開設を実施、圏域が広い地域包括支援センターでは、新たに支所を設置し、高齢者が身近な場所で相談できるよう、利便性向上を図る。

#### 障がい者福祉

新たに、青梅市基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制の強化、地域移行・地域定着の促進、権利擁護・虐待の防止といった様々な課題の解消に取り組む。

#### 健康づくり

市民の総合的な健康づくりを着実に推進していくため、「青梅市健康づくり推進計画」を策定し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むための施策を展開する。75歳以上の後期高齢者を対象に、保健事業と介護予防を組み合わせた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に取り組む。

#### 市立青梅総合医療センター

市立青梅総合医療センターでは、さらに、新病院建設事業を継続し、これからも多くの市民が安心して受診できる地域医療の充実を図る。



### 都市基盤・防災・安全

#### 拠点整備

圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備について、土地区画整理事業を、着実に支援し、新たな産業拠点の形成を図る。青梅駅周辺地区市街地再開発事業について、青梅駅周辺の賑わいの創出を目指し、再開発組合に対する協力・支援を着実に実行する。

#### 梅の再生

ウメ輪紋ウイルスからの再生・復興を成し遂げた梅の公園では、多くの観梅客を迎えるため、園路等の整備をはじめ、老朽化した遊具の更新等を行う。

#### 公共交通

「青梅市地域公共交通計画」に基づき、既存の公共交通の維持、確保を基本に、グリーンスローモビリティをはじめとする新たな移動手段の導入や、相乗りデマンドタクシーのシステム構築など、地域の交通事業者と連携しながら、市民の移動手段確保に向けた取り組みを進める。

#### 道路・橋梁

東青梅地区、市域の南北を結ぶ青梅都市計画道路3・5・24号根ヶ布長淵線の道路拡幅や無電柱化事業を進める。多摩川に架かる、梅郷・二俣尾地区を結ぶ好文橋の補修工事や釜の淵公園内の鮎美橋の構造改修および塗替え工事に着手し、長寿命化を図る。

#### 下水道

老朽化した管さよの改築、修繕およびポンプ場の施設改修、設備更新等を計画的に実施。御岳山事業区域の連絡管および集落地区などの整備事業を進める。

#### 防災・災害対策

「青梅市地域防災計画」を見直すとともに、防災基本条例を新たに制定し、危機管理体制の更なる強化を図る。各市民センター体育館や総合体育館等にWi-Fi環境を整備し、災害時の必要な情報伝達手段を確保。青梅市民防災ハンドブックを更新するとともに、最新の土砂災害警戒区域、浸水想定区域等を反映したハザードマップを作成し、全戸配布する。

#### 消防団

消防車両の更新や「新しい青梅市消防団のあり方に関する検討」の結果を踏まえた協議を消防団本部と進める。

### 自然・環境・エネルギー

#### ゼロカーボンに向けて

「青梅市環境基本計画」等を改定し、カーボンニュートラルの実現を目指す。家庭での更なる省エネ推進のため、高断熱窓への改修補助を継続するとともに、太陽光発電設備および蓄電池の導入補助を行う。





友達登録は  
こちらから



PC・スマホ フィーチャーフォン



特集

広報おうめ 6.3.15(3)

## 自然・環境・エネルギー

- ・高断熱窓への改修補助を継続、**太陽光発電設備**および**蓄電池**の導入を補助
- ・森林教育を実施。
- ・ナラ枯れに対する費用助成の制度を創設

## 歴史・文化・生涯学習

- ・**旧吉野家住宅**の内装の修繕を行い、周辺環境の整備
- ・JR青梅線開通130周年に併せた特別展や関連講座を青梅線沿線自治体と連携して開催
- ・旧長淵水泳場を活用し、**スケートボード**や**BMX**用のスロープ状の設備の設置

## コミュニティ・共創

- ・施設予約システムを更新し、電子マネーやクレジットカードなどによる**キャッシュレス決済**を導入
- ・ジェンダー平等担当主査を設置し、各種施策等を推進

## 行政経営・行政サービス

- ・申請書自動作成システムを導入
- ・AIによる自動応答ガイダンスを導入し、24時間いつでも、問い合わせに対応できる体制を構築
- ・**SGボートレースオールスター**の開催。

## 地域経済

- ・市内事業者の人財育成にチカラを入れ、地域のDXを促進
- ・持続可能な観光を念頭に事業を展開し、観光客は青梅ならではの体験をし、さらに市民は地域の活性化を感じることができる「**三方良し**」のアプローチを推進のもと、観光産業を通じた、地域の更なる活性化

2月20日(火) 日直

ボートレース多摩川  
イメージキャラクター  
静波まつり



### 森林整備・活用

未来を担う子どもたちに森林の公益性への理解および森林に親しむ機会を創出するための森林教育を実施。  
カーボンオフセットも視野に森林を持たない自治体との連携による森林整備等を行うため、市が保有する山林の境界確定を行い、今後の活用の基盤を整える。  
被害が拡大しているナラ枯れでは、危険木伐採に対する費用助成の制度を創設し、市民の安全対策を図る。

### 歴史・文化・生涯学習

#### 歴史・文化

都の指定有形文化財である旧吉野家住宅では、内装の修繕を行い、周辺環境の整備と併せ、東部地域における周遊の拠点施設の一つとして、更なる活用を検討する。  
開館50周年を迎える郷土博物館では、活動のあゆみ等を展示で振り返るとともに、JR青梅線開通130周年に併せた特別展や関連講座を青梅線沿線自治体と連携して開催。

#### 文化複合施設整備

ワークショップの開催や関係団体へのヒアリング等、多くの方々からの意見を伺いながら整備基本計画を策定し、新たな文化活動の創出の場となるよう取り組む。  
青梅駅前再開発ビルの公益床を活用した新たな図書館では、より市民の意見を反映した基本設計となるよう、基本設計期間を令和6年度まで延長し、ワークショップやパブリックコメントを実施

#### スポーツ

「第2期青梅市スポーツ推進計画」に基づき、青梅らしい多様なスポーツの推進に取り組む。  
スケートボードやBMXなどのエクストリームスポーツについては、旧長淵水泳場を活用し、スロープ状の設備の設置を進める。

### コミュニティ・共創

#### 地域コミュニティ

自治会館に対して、自治会の負担軽減と更なる省エネルギー化推進の両面から、照明器具LED化工事等の支援を行う。  
自治会集会施設に対する耐震診断や耐震改修工事等にかかる費用補助の更なる拡充を図り、地域コミュニティの安全な環境づくりを支援を行う。

#### 市民センター

12月より、施設予約システムを更新し、電子マネーやクレジットカードなどによるキャッシュレス決済を導入

#### 人権

人権擁護委員等の皆さんと連携し、人権教育やパネル展を通じた啓発、様々な人権問題に対する相談支援を行う。  
ジェンダー平等担当主査を設置し、「青梅市ジェンダー平等推進計画」に掲げる、各種施策等を推進します。

### 行政経営・行政サービス

#### DXで便利に

DXの推進による業務改善・業務効率化の取り組みをさらに推進し、行政サービスのより一層の向上に努める。  
「書かない窓口」の一環として、「申請書自動作成システム」を導入  
AIによる自動応答ガイダンスを導入し、24時間いつでも、時間や場所を問わず、市民からの問い合わせに対応できる体制を構築

#### ボートレース事業

5月21日～26日に「SGボートレースオールスター」を開催。一般会計へ18億円、病院事業会計へ10億円の繰出しを予定。高グレード競走の誘致に努めるとともに、更なる収益の確保。

### 地域経済

#### 経済の好循環へ

事業拡大を進める市内の企業や、市内に進出する市外の企業に対し、企業誘致条例を活用した、支援を行うとともに、「おうめ ひとつくり 支援事業」において、新たに、「DX人材育成メニュー」を追加し、市内事業者の人財育成にチカラを入れ、地域のDXを促進。

#### 適切な農地利用

地域ごとに将来における農業の在り方を協議する場を設け、その協議結果を踏まえて、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定を進める。  
認定農業者および認定新規就農者に対して、施設整備や機械導入における経費の一部を補助し、経営的な支援を行うとともに、新規就農者が農業経営を早期に安定化させるための各種支援を行う。

#### シティプロモーション

策定した新たな観光戦略を推進することで、事業者は、持続可能な観光を念頭に事業を展開し、観光客は青梅ならではの体験をし、さらに市民は地域の活性化を感じることができる「三方良し」のアプローチのもと、観光産業を通じた、地域の更なる活性化を図る。  
移住者が、自ら移住希望者の相談相手になるなど、移住・定住促進の担い手の輪が拡がりつつある。この輪を大きく広げ、ともに積極的なアピール等を実施



△施政方針全文

